

# 南はだの村七福神と鶴亀めぐり

日 時：2014 年 1 月 4 日（土） 天候：曇り時々晴れ 18,000 歩 約 12 k m

集 合：小田急線「秦野駅」 9 時 45 分 10 時出発

コース：秦野駅→太岳院（福祿寿・亀）→尾尻八幡神社（親子鶴・親）→西大竹岳神社（親子鶴・子）  
→福寿弁才天（弁財天）→西光寺（毘沙門天）→御嶽神社（恵比寿）・出雲大社相模分祠（大黒様）  
→浄圓寺（布袋尊）→白笹稻荷神社（寿老人）→秦野駅

参加者：（L）藤崎 （S L）饗場・常盤 （班長）1 班：佐藤伊 2 班：平嶋 3 班：河野 4 班：中村  
一般参加者含め 計 47 名

2014 年の干支は「馬」。馬は四本足、車で言えば「4WD」です。「2WD」の我々人間はとてつもない敵いませんが、そこはKWC、今年も“馬並み”のパワーで海・山・野を問わず大いに歩き回しましょう！

新年 1 月 4 日の秦野駅改札前は、すでに“七福神”が勢ぞろいしたかのような皆さんの笑顔で溢れていました。常連の方々に混じり、久々に会う方、吉野会長夫妻をはじめご夫婦で参加の方々、そして一般参加者と多彩な顔ぶれで総計 47 名での新年ウォークとなりました。心配された天気も雲の間から時々陽が射し、歩き出して暫くすると上着を脱ぐ人も見受けられ、この時期にしては穏やかな陽気の一日となり、良いスタートが切れました。

<フォトレポート 小島>



朝の秦野駅はKWCの熱気が溢れて・・・あちらこちらで新年の挨拶が交わされ出発準備OKです。



小田急秦野駅。駅前には正月のせいか閑散としています。

綺麗に整備された歩道を七福神めぐりスタートです。



処々にこのような旗が。

第一ポイント「太岳院」。福祿寿と亀があります。ご朱印帳スタンプを押す。



珍しい白の涎掛け。

重文の十一面観音があります。

亀はありましたか？

※**福祿寿**: 道教の三徳の思想(福・禄・寿)が日本に入って神格化したもの。背が低く、長頭で長い髭をはやし、杖に経巻を結び鶴を伴っている姿が一般的。

※**亀**: 「鶴は千年、亀は万年」といわれ寿命の長い動物から不老不死・長寿の象徴とされる。金運にご利益あり。



今泉遊水地。

この一帯は今泉名水桜公園となっています。ホタルが飛ぶその名もほたる橋。



佐藤伊さんによるストレッチ。正月ポケもこれで解消？



ここでリーダー藤崎さんより本日のコースの説明です。



尾尻 八幡神社です。



ここには親子鶴の親があります。時間の関係でここからは班長が代表してスタンプ押し。



西大竹 嶽神社に到着。鶴の子。



手助けしてスタンプと格闘中！



他の人はのんびり(?)と。

※親子鶴: 亀とともに寿命の長い動物か長寿の象徴。つがいは夫婦仲が良いことの象徴とされる。鳴き声はよく響き、はるか遠方でも聞こえることから、天上界に通ずる鳥とも言われ喜ばれる。



気合の赤い手袋ですか？



ここから立野緑地。嬉しい(?)上りです。



老人ホームのようですが...



南が丘公民館でトイレ休憩。



吉野会長も今日は奥様と。



南が丘公園を後にします。



運が良ければ見える富士。今日は皆さん強運です！



展望の良い丘陵の道を行います。



中央のピークはお馴染みの大山です。



震生湖に到着。



福寿弁財天です。



説明が長いので話を聞くのはパス。

※**弁財天**:七福神の紅一点。元はヒンドゥー教の女神が、仏教或いは神道と混交したものと言われている。

元は河神で、河の流れる音から連想して音楽神とされる。水辺、島、池など水に関係した場所に祀られる。

震生湖畔で班ごとに集合写真を撮りました。冬枯れの背景で色味に欠けます。



I 班



II 班

※震生湖:大磯丘陵北部、秦野市と中井町にまたがる湖。1923年9月14日の関東大震災の際の地震動で付近の丘陵が200mにわたり崩落し、市木沢最上部をせき止めたことから川筋と窪地が湖となった。流入河川、流出河川は存在せず、地下水流で周囲の水系とつながっている。ヘラブナ釣りで賑わいを見せる。周囲には震生湖公園が作られ、ハイキング等の人々で通年賑わっている。



Ⅲ班



Ⅳ班

※ここ「南はだの」には多くの湧水スポットがあるので紹介します。

- ①千年の杜の水: 出雲大社相模分祠の境内。
- ②どうめいの泉: 児童遊園地内で、地下 30mから湧いている。
- ③小藤川湧水: かつては田畑を耕す貴重な水源だった。
- ④まいまいの泉: 上古の「まいまい井戸」に因んで命名された。
- ⑤今泉遊水池: 太岳院池とも呼ばれ 2500t/日の湧水量がある。
- ⑥向原湧水: 住宅街のほたる公園内にある湧水。

※観光スポットとしては「震生湖」をはじめ、渋沢丘陵・西大竹堀川線の桜並木・立野緑地・軽便のみち等々があり

昼食は震生湖公園にて。みかんと一緒に転がった人も・・・誰？



吉野会長より今年も元気に歩こうとの年頭の挨拶。



カツを入れられて(?)午後の部スタートです。



“女性陣御用達”の無人販売。それにしても安い！

※**毘沙門天**: 多聞天ともいい北方を守る護法の善神とされ、七福神の中では戦い・勝ち運の神様。



西光寺に入ります。ここには毘沙門天があります。



↑ 荷物運びとは…男はつらいよ！



冬の陽を浴びて暫し休息ですか？



ご朱印スタンプを求めて…



御嶽神社には恵比寿様が。



門前には奇妙な形の木が。



奥には八坂神社が…



樹齢数百年でしょうか。

※**恵比寿**: 事代主の神。七福神の中で唯一日本古来の神。右手に釣竿、左脇に鯛を抱える。商売繁盛・五穀豊穡の神。



皇后陛下のお手撒き。



出雲大社相模分祠には大黒様が。さすがご本家そっくりの社殿です。



※**大黒様**: 古事記・日本書紀に登場する神様。五穀豊穡の農業の神。また縁結びの神としても有名です。



出雲大社相模分祠の本殿をバックに全員の集合写真です。(写っていない人はいませんでしたか?)



浄圓寺に着きました。金文字の額が...この布袋尊、誰かに似ているかも?

道元禅師の立像。

※布袋尊: 中国の唐末に実在した禅僧と言われる。太鼓腹の姿で常に袋を背負っています。袋は堪忍袋とも。



最後の白笹稻荷神社。ここは寿老人です。

本堂に上がると...

中は絵天井になっていました。

※寿老人: 道教の神仙で老子の化身とされる。酒を好み、頭が長く、白髭姿で赤い顔の長寿の神とされる。



佐藤伊さんによる仕上げのストレッチでホットに。



陽も傾き空気が冷たく感じられます。



長い影が今日のウォークの終わりを告げているようです。



後にした「白笹稲荷神社」の立派な大鳥居。

※ここから秦野駅まで残りのウォークです。各地に七福神めぐりはありますが、ここ「南はだの村七福神と鶴亀めぐり」はなかなか趣があり、新年最初のコースとしては距離的にも丁度良かったと思います。小田急線沿線も参加することによって面白さが分かってきたような気がします。神奈川県内もまだまだ知らない場所が多いので、これからも大いに歩きまわりたいと感じた今日のウォークでした。(但し、肝心の七福神と鶴・亀の写真が撮れていませんでした！)

※2014年初のアフターは秦野駅前の「魚民」で。席はクジ引きとなりました。





※人数が大いので5席に分かれましたが、どの席も皆さんの笑顔が溢れていました。

こうした楽しいアフターがあるのもKWCの魅力の一つだと思います。誰と隣り合っても明るく話がはずみ、コミュニケーションの場が広がる・・・乾杯の写真を見れば納得ですね！

今年も何かと失礼な写真やコメントがあるかと思いますが宜しくお願い致します。